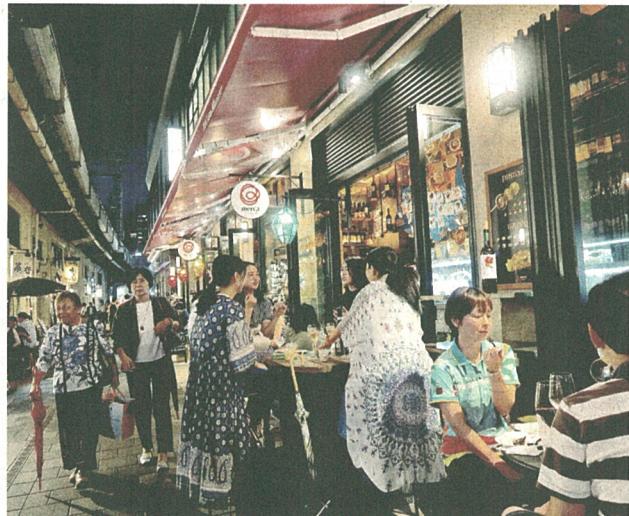


探訪

新ライフスタイル

女性集う夜の憩いの場、大阪の福島に



女性たちもふくまる通りで日常の夜を楽しむ

伸び悩む消費支出の打開には、積極的に消費意欲を刺激する策が不可欠だ。1日当たりの消費支出額でみると、最近では週末は減り、平日が増える傾向にある。働き方改革の影響で平日休みの人気が増え、平日への消費シフトが加速しているからだ。これに伴い、働く女性が仕事帰りに毎日立ち寄れる飲食店を求める声も多い。社会全体に閉塞感が充満する中、身近な日常の中で人々と交流する楽しさは

ライフスタイル

欠かせない。「女性」「日 常」「集える飲食店」には大きなビジネスチャンスが潜んでいる。

阪神電鉄道とJR西日本

の2社での共同事業で、マーケットとホテルが建つ

た。下層階には通りに面してテラス席がある小さな飲食店が並び、大阪環状線高架下に元来あった飲食店と

1つに溶け合った空間とな

った。福島5丁目と7丁目

は金曜、土曜日は午前0時まで営業するなど、夜の街

はパンのパネ・ポルチーニ

ヨスやスペインのお酒に因

まれ、ピンチョスの串の先に隠された当たりくじを引み焼き、イタリア食堂、フランス料理のおつまみとワ

インの店、バーやカフェなど、オシャレで個性的な飲食店をはしごするのが樂し

い。行列の絶えない焼きた

高架下×バル、おしゃれ空間

から「ふくまる通り57」と命名され、梅田の隣駅に女性がこぞってやってくるお

スパーーの阪急オアシス

で女性好みの店舗が充実す

福島ふくまる通り57店では

購入した肉を鉄板で焼いて

るのは珍しい。大阪は混沌

一食べるを自由に」をコン

食べられるコーナーもある

が面白いと言われるが、そ

セプトに、街路とスパーー

との融合を実現した。1階

がベースはほとんどが男性

はイトインコーナーで食

きちらホールディングスの

女性が集う都会のオアシス

べられる食事やスイーツ、

女性が集う都会のオアシス

づくりは、まだまだ未成熟

通りに面した場所にはスペ

インバルの「mercado

アクトーになるだろう。

PASEO(メルカパセ

い)が誕生した。20種類

以上ある150円のピンチ

ここ数年、福島駅かいわ

(商い創造研究所代表 松

本大地)